

勝浦町立勝浦中学校



1 学校の概要

- ① 生徒数 124名
- ② 校訓 自主・友愛・努力
- ③ 環境目標・テーマ

ふるさとの豊かな自然を守るために、地球にやさしい学校づくりに全員で努力しよう
学校生活の中で「自然環境・エネルギー・資源」に関する課題を見つけ、それらの問題の解決に努め、地球規模の環境保全に貢献できる学校づくりをしよう。

2 行動方針

- ① 節電・節水に努めます。
- ② 資源の無駄使いをしないように努力します。
- ③ リサイクル活動に取り組み、地球環境の保全に努力します。
- ④ 郷土の環境美化に努力します。
- ⑤ 学校の美化活動に努力します。
- ⑥ 地球環境や資源・エネルギーに関わる問題について理解できるように努力します。

3 行動

① クリーン作戦

学校の周辺を中心としたゴミ拾いを行った。ゴミは持ち帰り、環境委員を中心に分別した。たくさんのゴミを拾うことができた。活動の様子を写真に記録し、一部掲示している。また、生徒に感想を書かせて、一部を掲示した。



② エコ標語の募集

全校生徒への啓発の一環で募集した。多くの作品が集まり、優秀作品は徳島新聞社に応募した。また、よくできている作品を校舎内の随所に掲示し、ISO活動への意欲を高めている。一人の生徒の作品が徳島新聞紙上に掲載された。



③ 生徒会によるリサイクル活動

プラタブ、アルミ缶、ペットボトルの蓋を集めている。リサイクルで得た収益で、車椅子を福祉施設に送る計画である。保護者の協力も得て、たくさんの量が集まってきている。今年度3回目の車椅子寄贈を達成した。



④ 栽培学習

「緑のカーテン」と称して、仮設校舎西側にゴーヤを栽培した。環境委員会が中心になって世話をした。西日の遮断に役立った。

⑤ I S O 取り組みへの訴え

全校集会を利用して、環境委員長が全校生徒に I S O の意義を訴えた。上からではなく同じ生徒からの話として、生徒の心に響いたと思われる。

⑥ 環境講演会の開催

四国電力の方を講師にお招きして、発電方法や原子力発電の課題などをご講義頂いた。生徒の知識の習得に効果的であった。



⑦ 学校新聞での呼びかけ

保護者にも I S O の意義を知ってもらうために、「勝中新聞」に I S O 啓発の記事を載せた。

⑧ 環境新聞の発行

環境講演会のお話をまとめる形で発行した。



⑨ I S O 掲示コーナー

I S O に関する活動の取り組みや成果を、2 F 廊下の一角に設定した。

⑩ 今後の活動予定

- ・クリーン作戦
- ・冬のエコスタイル新春書き初め
- ・各教科での I S O 関連事項の指導状況を確認



4 具体的効果

- ◆ クリーン作戦は実際にゴミを拾うため、生徒全員が達成感を感じている。
- ◆ I S O の掲示コーナーは多くの生徒が常時目にするので、意識の高まりに役立っている。
- ◆ 「節電・節水」の張り紙をしてから電気をこまめに消せるようになった。
- ◆ 標語や書き初めは楽しく参加できている。
- ◆ 講演会は生徒になじみやすいテーマにすれば、有意義な学習機会となる。
- ◆ 全校集会の呼びかけや環境新聞の発行は、I S O への理解を深めた。
- ◆ 栽培学習は実際に体験するため、生徒の達成感が感じられた。

5 改善点

- ◆ より一層多くの生徒が自分の問題として取り組めるように工夫する。
- ◆ 各クラスの環境委員が、進んで I S O 関連の掲示物を作成するように促した。
- ◆ 昼休みの教室消灯を呼びかける。
- ◆ 各教科でも I S O との関連性を重視できるよう職員の意識を高める。